

# ドライブ・マイ・カー アカデミー賞 国際長編映画賞 受賞 おめでとうございます!



赤平市が北海道ロケ地となった映画「ドライブ・マイ・カー」が、日本時間3月28日にアメリカで開催された「映画界最高の栄誉」と称される映画の祭典「第94回アカデミー賞」4部門でノミネートされ、そのうちの1つ「国際長編映画賞」を見事受賞いたしました。

快挙になる受賞に日本中が喜びと称賛に包まれ、赤平市でもアカデミー賞発表の生中継を関係者らが見守り、受賞の瞬間、大きな歓声が沸き起こりました。

濱口竜介監督や西島秀俊さん、赤平市に縁のある俳優、岡田将生さんたちがアカデミー賞の舞台上に立つ姿に、赤平市から惜しみない拍手が贈られ、濱口監督もインタビューで、ロケ地への感謝を語られておりました。

世界から評価が高いこの映画の重要なシーンとともに赤平市の広大な雪景色の情景と魅力が世界中のスクリーンで映し出され見ていただけることは、赤平市にとりまして大変喜ばしいことでもあります。日本映画の偉業となる受賞に、ロケ地赤平市より、濱口監督をはじめドライブ・マイ・カーに関係するすべての皆様にお祝いを申し上げます。

## 第94回アカデミー賞

ドライブ・マイ・カー  
～ノミネート4部門～

- 作品賞(日本初)
- 監督賞(黒澤明以来36年ぶり濱口竜介)
- 脚色賞(日本人初 濱口竜介・大江崇允)
- 国際長編映画賞 13年ぶりの受賞



2022. 3. 28 珍来

赤平市への  
ロケ地巡りに期待!!

アカデミー賞国際長編映画賞受賞を機に、赤平市のロケ地を訪れる方が増えております。

映画館での再上映やレンタル開始、DVDなども販売され、ご覧になれる機会が増えており、赤平市へのロケ地巡りに期待しております。

赤平市では歓迎ムードを高めるために、市内公共施設や商店などに受賞をお祝いする表示を貼り出しています。また、赤平観光協会では、撮影地となったズリ山の駐車場にPRや誘導する看板を設置する予定です。



©ドライブ・マイ・カー「製作実行委員会」



# 日本映画史上初の快挙！



撮影地①美園町「ズリ山北斜面」※立入禁止

去年、フランスのカンヌ映画祭での脚本賞受賞を皮切りに、名だたる海外の映画祭などで受賞ラッシュとなり、米アカデミー賞前哨戦のゴールデングローブ賞では非英語映画賞を受賞するなど国際的に高い評価を受けました。

日本アカデミー賞では最多8部門の受賞となり、米アカデミー賞では、日本映画史上初の作品賞を始め、4部門がノミネートされ受賞への期待と注目を集めていました。

当日は、華やかな雰囲気の中、授賞式が行なわれ、国際長編映画賞の発表で、「おくりびと」以来、13年ぶりの受賞に輝きました。



撮影地②共和町「元島農園」

## なぜ、赤平がロケ地に？

広い北海道の中で、なぜ、赤平市がロケ地として選ばれたのか。気になるところだと思えます。

きっかけは、ドライブ・マイ・カー北海道ロケ制作担当の松倉和哉氏とのつながりからでした。

制作担当の仕事は、映画の撮影に当たってロケ地との交渉や現場の安全確保、スタッフの食事、宿泊の手配などを調整し、撮影における重要な役割を担っているまさに現場の管理者です。

松倉氏は、2015年鈴木井貴之監督の全国ドラマ「不便な便利屋」や2019年HTB「水曜どうでしょう」の制作担当を務めており、縁が深い赤平市をロケ地の候補としてご提案いただきました。

2020年10月に濱口監督他スタッフがロケハン(事前下見)に赤平市を訪れ、その情景を気に入られロケ地となりました。映画では、主人公と専属運転手の新たな再生の一步が踏み出される重要なシーンが赤平市で撮影されました。

赤平市も炭鉱の閉山や財政再建など幾多の困難を乗り越えまちを再生してきましたがその情景が、ドライブ・マイ・カーの人生再生の場所として選ばれた一因になったのではないかと感じております。

## 松倉氏インタビュー

赤平市をロケ地に選んだ理由は。

たまたま赤平を通ったとき伐採されたズリ山が目に入り、映画シーンに合う風景があったことはもちろんですが、以前、ドラマでお世話になった赤平の方々との協力体制の

素晴らしさが、また撮影したいという気持ちにさせてくれました。

監督、スタッフ、俳優のみなさんの赤平撮影の感想はいかがでしたか。

いいシーンが赤平で撮影できた満足感と国内では最後の撮影場所となり、クランクアップ(撮影終了)した感動があったようです。

ロケでの赤平食は好評でしたか。

冬の寒い中での撮影だけに「ガンガン鍋」や「トンカツラーメン」の差し入れは有り難く、俳優、スタッフは心まで温まり、とても美味しかったと喜んでおりました。

最後に赤平市に一言。

実は私、赤平生まれです。赤平市は不思議なほど撮影隊が引き寄せられる何かを持っています。良い作品が生まれるまちで世界的に有名になることを願っています。



ドライブ・マイ・カー  
北海道ロケ制作担当  
松倉 和哉 氏